

■事業継続計画書

- ①従業員とその家族の安全の確保を最優先とする。
- ②事業の早期復旧を図り、お客様への安定供給を確保します。

初版：2016 年 4 月 1 日制定

最新：2025 年 10 月 07 日第 10 版改定

事業継続計画書		発 行 号	75-01						
改 訂 日		25-10-07							
担 当 部 門		BCP管理責任者							
事業継続計画 (Business Continuity Plan) <table border="1"><thead><tr><th>発行日付</th><th>承認</th><th>作成</th></tr></thead><tbody><tr><td>2025-10-07</td><td>日付 2025-10-07 社長執行役員 棚田 雄紀</td><td>日付 2025-10-07 BCP管理責任者 山崎 直樹</td></tr></tbody></table> 第 10 版 株式会社ミズサワセミコンダクタ (MIZUSAWA SEMICONDUCTOR CO., LTD.)				発行日付	承認	作成	2025-10-07	日付 2025-10-07 社長執行役員 棚田 雄紀	日付 2025-10-07 BCP管理責任者 山崎 直樹
発行日付	承認	作成							
2025-10-07	日付 2025-10-07 社長執行役員 棚田 雄紀	日付 2025-10-07 BCP管理責任者 山崎 直樹							

■訓練

消防訓練…2024 年 11 月 7 日 13:00 実施(日勤)、20:15 実施(夜勤)

一般救命訓練…2024 年 12 月 4 日 13:30 実施



■地震行動定義見直し（2025 年 09 月 17 日）

行動定義(平日昼勤帯) ※震度は気象庁 地震情報参照

◆震度3以下：SBU毎に班長が状況確認し異常発生時のみ上長へ報告

◆震度4～5弱：昼勤帯の初動対応

揺れが大きいと判断した場合、従業員は作業を中断し揺れがおさまった後、一次避難、再入の指示があるまで工場外で待機
(震度5強以上、安否確認メール自動通知されます→安否確認(総))

揺れによる影響が小さく継続非難は不要と判断した場合(震度4を想定)

余震を考慮

避難の後、工場内に立ち入る指示を受けた場合
被災状況確認シート(別紙)を参考に確認を進める

揺れによる影響が大と感じた場合(震度5弱を想定)

避難：避難誘導(管理監督者)及び避難(全員)※お客様の避難誘導含む
安否：出勤者の点呼確認(各部、各Gr)※お客様の確認含む

余震を考慮

工場内に立ち入る指示により、被災状況確認シート(別紙)を使用し確認を進める※ヘルメット着用、2名以上で行動

◆震度5強以上：危機対策本部の設置(MSC)敷地内駐車場

参考：2024.4.5 第10回定例会議

●人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
4	ほとんどの人が驚き、動いている人のほとんどが、家具を倒れる、走っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、壁にある装飾品は床を這って落ち、倒れるものがある。	電柱が大きく揺れ、自動車は揺動し、倒れる可能性がある。
5弱	大半の人が、恐怖を感じ、物につかまろうとする。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、壁にある装飾品、書籍の床や落ちることがある。倒れるものが多い。倒れたものによって、通行が妨げられる可能性がある。	電柱が大きく揺れ、倒れる可能性がある。道路が揺れる可能性がある。道路が揺れる可能性がある。道路が揺れる可能性がある。

行動定義(休日・夜勤帯) ※震度は気象庁 地震情報参照

◆震度3以下：SBU毎に班長が状況確認し異常発生時のみ上長へ報告

◆震度4～5弱：休日・夜勤の初動対応

揺れが大きいと判断した場合、揺れがおさまった後、工場外で待機
(震度5強以上、安否確認メール自動通知されます→安否確認(総))

揺れによる影響が小さく継続非難は不要と判断した場合(震度4を想定)

報告：会社携帯電話にて連絡(主事、班長、代行者)

報告を受けた管理監督者は報告内容確認後、指示。

指示例：余震が無い場合、〇〇工程の装置は、製品仕掛りの品質チェックを実施してください。
余震が発生時は避難し、待機してください。

避難の後、工場内に立ち入る指示を受けた場合
被災状況確認シート(別紙)を参考に確認を進める

揺れによる影響が大と感じた場合(震度5弱を想定)

避難：避難誘導(主事、班長、代行者)及び避難(全員)

安否：出勤者の点呼確認(主事、班長、代行者)
報告：会社携帯電話にて連絡(主事、班長、代行者)

報告を受けた管理監督者は報告内容確認後、指示。
指示例：余震に注意しながら、敷地内駐車場にて待機してください。

対応出社者(管理監督者)
出社できたメンバーにて(分担して)状況確認、第一優先：勤務者の安否
管理監督者指示により順次：被災状況確認
工場内に立ち入る指示により、被災状況確認シート(別紙)を使用し確認を進める※ヘルメット着用、2名以上で行動

◆震度5強以上：危機対策本部の設置(MSC)敷地内駐車場